

工事成績評定における評価対象項目の追加 概要

(森林由来のカーボン・クレジット購入を通じた地域の森林づくりへの貢献)

県土整備部 技術検査課

■ 背景

- 「脱炭素社会ぎふ」の実現には、温室効果ガスの排出削減並びに二酸化炭素の吸収源となる森林の保全・整備を進める必要がある。

国のJ-クレジット制度に加え、県は2023年11月から独自の森林由来のカーボン・クレジット制度「G-クレジット制度」の運用を開始した。森林由来のカーボン・クレジットを購入し、活用することは、健全で豊かな森林づくりを推進するとともに、「脱炭素社会ぎふ」の実現に大いに貢献するものであることから、その取組みを推進する必要がある。

■ 概要

- 県が発注する工事において、受注者が県内で創出された森林由来のカーボン・クレジット（J-クレジット又はG-クレジット）を一定数量以上購入し、地域の森林づくりに貢献した際に、「工事成績評定」における「社会性等（地域への貢献等）」の評価対象項目の一つとして評定点に反映する。

■ 評価対象項目（例：一般土木）

- 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。
- 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。
- 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。
- 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。
- 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。
- 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。
- 通学路における児童の見守り活動や交通安全活動に参加するなど、地域の安全に貢献した。
- ~~コロナ禍における地域振興策に積極的に取り組んだ。~~（削除、別紙2参照）
- 障害福祉サービス事業者等の活動支援に積極的に取り組んだ。
- 森林由来のカーボン・クレジットの購入を通して、地域の森林づくりに貢献した。 ←

| | |
|---|---|
| 追 | 加 |
|---|---|
- その他〔理由：
- その他〔理由：

※岐阜県内で創出された森林由来のカーボン・クレジット（J-クレジット又はG-クレジット）を5t-CO2以上購入した場合に評価する。